

## 地方創生・しがブランド推進対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 平成 30 年 11 月 14 日（水）～15 日（木）

### 2 調査の概要

11 月 14 日（水）

#### （1）ディスカバーリンクせとうち（広島県尾道市）

調査内容：瀬戸内エリアにおけるディスカバーリンクせとうちの取り組みについて

同社は、まちに事業と雇用を創出して瀬戸内の未来を育てていくことを目的に、平成 24 年 6 月に設立された株式会社である。広島県の海運倉庫施設をサイクリストに必要なサービスやレストラン等の設備を備えた複合施設として再生した「ONOMICHI U2」、尾道の暮らしや文化を体験しながら働くことのできるシェアオフィス「ONOMICHI SHARE」や「尾道デニムプロジェクト」などの事業を広島県、尾道市、地元金融機関等と連携して行っており、雇用を生み出し、移住、U I J ターンにもつなげていこうとしている。

こうしたことから、本県における雇用創出、人材の確保、他団体との連携の方法、移住等に向けた取り組みについて今後の参考とするため、当団体の取り組みについて調査を行った。



#### （2）一般社団法人せとうち観光推進機構（広島県広島市）

調査内容：広域観光連携におけるブランド推進について

一般社団法人せとうち観光推進機構は、瀬戸内を囲む 7 県（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）が合同して瀬戸内全体の観光ブランド化を推進するため平成 25 年結成された「瀬戸内ブランド推進連合」に、民間の事業会社が加わる形で、平成 28 年 3 月に発足した。

具体的には、瀬戸内全体での観光資源を最大限活用しながら、マーケティングを行い、多様な関係者とともに情報発信やプロモーションを行っている。また、瀬戸内地域を中心とした金融機関と域内外の事業会社から出資された株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションと連携して、瀬戸内の魅力を体感できる観光サービスや地域産品等の新たな観光プロダクトの開発支援を行っている。

こうしたことから、本県における観光振興やブランド推進の参考とするため、当該機構における、

広域観光連携におけるブランド推進について調査を行った。



11月15日（木）

（3）広島県議会（広島県広島市）

調査内容①新規創業・第二創業など多様な創業の活性化について

起業への意識向上、潜在的な起業・創業者の掘り起こしを継続して行うため、広島県では、県、市町、経済団体、金融機関、支援関係機関等でオール広島総合支援ネットワークを構成し、支援強化や連携を強化し、新規創業や第二創業につなげる創業環境整備促進事業を行っている。また、広島県出身の創業者を県内大学に招いて、学生と交流を行うことにより、若者世代への創業への関心を高める創業スーパースターズ事業も行っている。本県の起業および創業支援の参考とするため調査を行った。

調査内容②地域産業IoT等活用の推進について

広島県の県内製造業ではAI/IoTの導入に取り組んでいるのは1割程度で対応が進んでおらず、人材も不足している。生産年齢人口の減少が進み、技術力の継承の危機、数量的な供給不足が予測される中、AI/IoTの導入により解決を図る視点は大変重要である。このような広島県が抱える行政課題で、AI/IoTの活用により解決が考えられるテーマについて、県が主導して何度も試行錯誤ができる実証実験の場（ひろしまサンドボックス）を提供し、民間企業や大学と連携して行うことにより、広島発の新たなソリューションの創出を目指している。また、AI/IoTの推進にかかる中長期人材育成プログラムの作成も計画されているため、本県におけるAI/IoT推進の参考とするため調査を行った。

調査内容③出会い・結婚支援の充実について

未婚化、晩婚化が進行する中、広島県では平成26年8月にひろしま出会いサポートセンターを開設し、インターネット等で会員登録を行い、民間企業と協働で、会員向けの出会いイベントやセミナーなどを数多く開催している。また、イベントでの世話役となったり、イベント後にもフォローを行うボランティアの養成も行っている。本県における人口減少対策の参考とするため調査を行

った。



#### (4) 尾道デニムショップ（広島県尾道市）

調査内容：デニムを生かした国内外へのブランド発信について

広島県東部の備後地方でつくられるデニムの魅力発信と、尾道のまちの魅力発信を目的に、平成25年1月から尾道デニムプロジェクトがスタートした。具体的には、尾道デニムプロジェクトに参加する農家、漁師、大工からカフェ店員、尾道市長などに至るまで、世代をこえた様々な職種の尾道在住の人にデニムを渡して1年間穿いてもらうことにより、仕事や日々の生活の中でできたしわや色落ちができる。この1年をかけてできる、しわや色落ちといったところに1点物のUSEDデニムとしての価値を見出し、尾道デニムショップで1本あたり5万円近い値段で販売されているものもある。また、国内外への発信も積極的に行っており、海外からの取材も多い。

については、本県のブランド情報発信の参考とするため、当該施設を訪問し、効果的な国内外へのブランド発信について調査を行った。

